



ゆづりは

堺市立図書館だより

第17巻 第3号 (通巻64号)

発行日 令和4年12月20日

編集・発行 堺市立中央図書館

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

https://www.d-library.jp/SKI01/g0102/

libcontents/search/?gid=1025



郷土資料展「ふるさとの 潮の遠音の」

中央図書館で与謝野晶子関連の展示と講演会を開催しました

令和4年11月5日(土)から27日(日)まで、中央図書館1階ロビーで郷土資料展「没後80年 与謝野晶子展「ふるさとの 潮の遠音の」」を開催しました。「晶子と堺」、「晶子と詩歌」、「晶子と鉄幹」、「晶子と源氏物語」といったテーマに分けて、解説パネルと『明星』、『よしあし草』、『日本敷島会歌集』、『新訳源氏物語』などの資料を展示しました。『みだれ髪』を初版から2018年発行分まで21種類を並べての展示は、図書館ならではの声をいただきました。タイトルの「ふるさとの 潮の遠音の」は、歌集『舞姫』に収録されている「ふるさとの 潮の遠音の わが胸に ひびくをおぼゆ 初夏の雲」から採っています。東京の初夏の雲をながめると、ふるさとの潮の音が胸に響いてくるという、堺を懐かしむ歌です。



当館所蔵の『みだれ髪』初版からの資料展示



晶子と鉄幹に関する資料

11月27日(日)には、記念講演会「与謝野晶子の随想『私の生ひ立ち』」を開催しました。講師は同志社女子大学非常勤講師で与謝野晶子倶楽部の運営委員を務める古澤夕起子氏にお願いしました。古澤氏には与謝野晶子の自伝的作品である『私の生ひ立ち』のなかから「火事」という章を取り上げて、明治20年8月に堺で実際に起こった火事について、当時の新聞による歴史的事実の解明とそれを踏まえての晶子の表現について解説していただきました。参加者のアンケートでは「先生のお話がとても聞きやすかったです。小さなところを丁寧に掘りさげていただいて、興味深く拝聴しました。」「時代背景を理解することの大切さを痛感しました。」など大好評でした。



古澤夕起子氏の記念講演会の様子

※3面のシリーズ堺の人物では、「没後80年 与謝野晶子と家族」についてクローズアップしています。

目次

- 郷土資料展 「ふるさとの 潮の遠音の」 …1
- この本で解決！ 「E-レファレンス（調査相談）サービスをご紹介！」 …2
- 年末年始の休館と ホームページのお知らせ …2
- シリーズ堺の人物 「没後80年 与謝野晶子と家族」 …3
- 堺っ子読書フォーラム 「読書がひろく 科学のこころ」 …3
- 司書のイチ押し 『神々の花園』 …4
- 堺市立図書館電話番号一覧 …4

ゆづりは とは...

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりしあとに
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。

バックナンバーは
こちらから➡





広報さかい11月号 図書館特集掲載

E-レファレンス（調査相談）
サービスをご紹介します！



図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

調べ物等の問合せは電話や来館でお受けしていますが、図書館ホームページやメールからでもお受けすることができます。

界に関する問い合わせや和漢書（※）の所蔵調査に関しては、日本だけでなく外国からもメールが送られてきます。

中国・北京の大学生からの質問では、流暢な日本語のメールに返信をしながら、離れた所に住む人とやりとりができる、時間帯を気にしなくて良いという E-レファレンスの強みを感じました。

一方で、対面でのレファレンスと違い、E-レファレンスは文章のやり取りだけなのが難点です。カウンターでお受けすることも多い「昔読

んだ話を探している」という質問に対しても、E-レファレンスの場合、書架から該当しそうな本を出してきて、本の大きさやイラストの記憶を呼び起こしてもらうことができません。

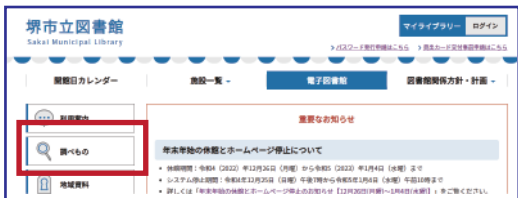
でも、回答するまでに少し時間の余裕があることが多いため、複数の職員に協力を求め、調査を広げることができます。最近も他館職員の記憶・経験から相談者の方が探されている本にたどり着くことができました。

※当館では江戸時代に出版または筆写された資料を中心に、約 4000 冊の和書・漢籍を所蔵しています。（中央図書館 レファレンス担当）

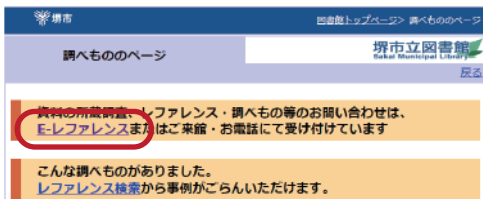
**195 万冊の蔵書と職員ネットワークを駆使して、お探しの 1 冊を見つけます。
どうぞ E-レファレンスもご利用ください。**

E-レファレンスって、どうやって使ったらいいの？

① 図書館ホームページ左端の「調べもの」をクリック



② 「調べもののページ」の「E-レファレンス」をクリック



③ 「E-レファレンス（調査相談）サービスご案内」ページの「申込」をクリック

④ 「レファレンス申込み入力フォーム」画面から貸出カード番号（または氏名、電話番号）、質問内容などを入力

⑤ 図書館職員が確認の上、資料を探し、原則 2 週間以内に回答

申込はこちらから →



年末年始の休館とホームページ停止のお知らせ

図書館では、年末年始の全館休館中に、システム機器更新を行います。そのため、ホームページも停止します。ご不便をおかけしますが、何とぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

機器更新に伴う年末年始休館 令和 **4 年 12 月 26 日（月）** から令和 **5 年 1 月 4 日（水）** まで
年始は、1 月 5 日（木）午前 10 時より通常通り開館します。（図書館カウンター堺東のみ、1 月 6 日（金）午前 8 時より開館します）

ホームページ停止期間 令和 **4 年 12 月 25 日（日）** 午後 **7 時から**
令和 **5 年 1 月 4 日（水）** 午前 **10 時まで**
利用できない機能（蔵書検索・予約・マイブラリー・電子図書館ログインなど）



詳しくはホームページをご覧ください

なお、今回の更新で音声応答サービスを終了します。永らくのご利用ありがとうございました。今後はマイブラリー機能をご利用ください。

シリーズ **堺**
の人物

ぼつご ねん よさのあきこ かぞく
没後80年 与謝野晶子と家族

与謝野晶子は、明治11(1878)年12月7日に堺
かいのちよう
区甲斐町で生まれました。第一歌集『みだれ髪』
で恋愛を情熱的に詠いあげ、世間を驚かせた晶子は、
明治・大正・昭和の3つの時代にわたって、詩歌だけ
でなく古典文学の現代語訳や社会評論活動、教育
の推進等に大きな業績を残し、昭和17(1942)年
に亡くなりました。今年は無後80年にあたります。

ほうそうしち つね し
父は鳳宗七、母は津祢、晶子は「志よう」と名づ
けられました。晶子には姉がふたり、兄、弟、妹が
ひとりずついました。父親は晶子が生まれるとき男子を強く希望していたの
で、晶子は生後間もなく叔母に預けられ、2年後に弟が生まれてやっと生
家に戻されました。

実家は「駿河屋」という菓子商でした。晶子の長男である与謝野光氏
が、『明星』(第三次)第一巻第二号(1947年)に記したところによると、

鳳の家はもと越前のおで、
堺近郊の鳳村に移り住み
鳳を名乗ったそうです。鳳
村に来て何代目かが、羊
羹で知られた和歌山の駿
河屋に奉公に出て、年期
のあけた後にのれんを分けて



『堺の風物史』岸谷勢蔵 / 画から「駿河屋」



『みだれ髪』初版

貰って大阪に駿河屋分店を持つことにな
りました。この人が晶子の曾祖父にあた
り、後に大阪より魚が美味しいと堺に
移って菓子屋を始めました。

晶子の父親は、店の経営を妻に任せ
て読書や俳句を楽しむ趣味人で、町の世
話役としての活動もしていました。晶子は子ども
の頃から店の手伝いをし、店番のときや夜に父親
の蔵書を読み漁りました。『雑記帳』(1915年)
の中で、「夜間の僅かな時間を偷んで父母の目
を避けながら私の讀んだ書物は、いろんな空想の
世界のあることを教へて私を慰め且つ勵ましてくれ
た。」と述べています。

『明星』辰年第九号(1904年)に掲載された「君死にたまふこと勿れ」
ちゆうざぶろう
には、強い反発もありました。日露戦争出征中の弟・籌三郎を想った詩で
すが、籌三郎は無事に日本に帰国し、後に駿河屋の家業を継いでいます。



引札「駿河屋」



『明星』辰年第九号

(中央図書館 地域資料担当)

【参考文献・出版年順】

- ・『雑記帳』与謝野晶子／著 金尾文淵堂 1915年
- ・『明星』(第三次)第一巻第二号 与謝野光／編 明星発行所 1947年
- ・『与謝野晶子 その生涯と作品』堺市博物館 1991年
- ・『年表作家読本 与謝野晶子』平子 恭子／編著 河出書房新社 1995年
- ・『評伝与謝野寛晶子 明治篇』逸見 久美／著 八木書店 2007年
- ・『与謝野晶子と故郷堺』堺市立文化館与謝野晶子文芸館 2008年

令和4年度 堺っ子読書フォーラム
「読書がひろく 科学のこころ」

新型コロナウイルスの影響で昨年のみオンライン開催となった堺っ子読書フォーラムですが、12月4日西図書館2階ラーニングスペースを会場に2年振りに対面にて開催しました。フォーラムでは、堺市子ども読書活動推進計画の周知を図り、子どもの読書の必要性・有用性への認識を深めることを目的に、子どもの成長や読書活動に関する講演等を行っています。

第1部では、中・西図書館職員から図書館での取組の紹介と堺市子ども読書活動推進計画進捗状況の報告を行いました。

第2部では、自然環境研究オフィス代表の柴山元彦氏をお招きし、「石好きから理科好きへ」と題して、ご講演いただきました。関西を中心に日本各地でひらかれている石探し教室の様子や、子どもが科学に興味を持つときに本が果たす役割などについて語られ、子どもが抱いた疑問や興味を深めるには寄り道が大事で、本を使って調べることで思いがけず多様な角度から理解が深まるとのお話に、参加者は熱心に聞き入っていました。当日の様子は後日オンラインにて、希望者へ動画配信も行いました。

(中央図書館 児童担当)





司書のイチ押し



神々の楽園

澤野新一郎 / 著 レミトンコーポレーション 1999

南アフリカと聞いて、何を想像しますか？砂漠でしょうか、サバンナにいる動物でしょうか。ダイヤモンドの採掘なども聞いたことがあるかもしれません。

南アフリカ共和国、北ケープ州西部ナマクワランドは、一年を通してほとんど雨の降らない荒涼とした砂漠ですが、観光地として有名です。それは、その乾いた土地が、色鮮やかな花々で覆われる時があるからです。

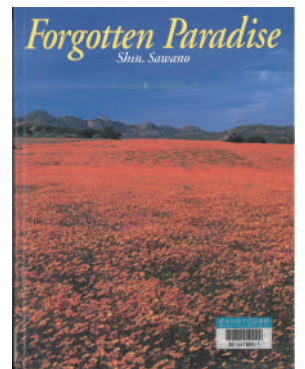
砂漠に花畑なんてありえないと思われるかもしれませんが、南アフリカでは春になる七月から九月に、その花畑は現れます。気候に左右されるため、場所も時期も決まっておらず、一年に数日間だけ、雨の降った後の晴れた日中にしか見られません。四千種類もの花が咲き乱れるその現象は「神々の花園」と呼ばれています。

「昔むかし、神様が花の種が入った袋を腰に下げて空を飛んでいました。ふと気がつく袋の穴から大切にしていた種はこぼれこぼれて荒野は花園に変わりました。」という言葉から始まるこの写真集には、その花畑を撮影した写真が収録されています。撮影者は、日本人写真家の澤野新一郎氏です。南アフリカの観光パンフレットにあった小さな花畑の写真に魅せられて、澤野氏はこの写真集を出版に至りました。時期の定まらない花畑のため、何度もアフリカへ行ったようです。

私は小学生の時に、その花畑の存在を知り、どうしても見てみたくなりました。とはいえ、その時アフリカに行くことはもちろんできません。当時は今ほどインターネットも発達しておらず、私の検索力も低く、

パソコンで花畑の写真を見ることはできませんでした。書店や古書店も探しましたが、アフリカの動物たちのものばかりで、花々の写真が載っているものはなかなか見つかりませんでした。図書館のホームページから検索して、この写真集のことを知ったとき、とても嬉しかったことを覚えています。その本を近くの図書館に取り寄せることができるということを知らなかった私は、所蔵する図書館へ姉と車で向かいました。そしてカウンターで書庫にある本を借りたいと緊張しながら伝えました。当時の私には大きく、分厚くて重かった写真集を大切に持って帰り、1ページ1ページを時間をかけて眺めながら、この本を見つけることができよかったです。借りてから二週間、さらに延長して二週間。その後、何度もこの写真集を借りに行きました。つらいことがあった時や、疲れた時、南アフリカのさまざまな空や広大な自然、色とりどりの美しい花々を眺めることで励まされてきました。中でも、目が覚めるようなアフリカの濃い青空と地平線まで広がるナマクワランドデイジーをぜひご覧ください。この本を探して読むことができたときの感動は、今でも思い出すことができます。

知りたいと思ったことや見たいと思ったものが、インターネットで検索して見つからないとき、諦めずぜひ一度図書館をご利用下さい。(S・Y)



『神々の楽園』澤野新一郎 / 著
レミトンコーポレーション 1999

堺市立図書館電話番号一覧

中央図書館	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター船松人権歴史館	
くすのき号	244-3811	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
東百舌鳥分館	234-9600	北図書館	258-6850		
東図書館	235-1345	美原図書館	369-1166		
初芝分館	286-0071				



ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>